

日々変わる経営環境へ柔軟に対応する

使用料改定と持続可能な下水道経営

日時

3/10 (火)

10:00 開始 ▶ 12:00 終了

本セミナーは ZOOM を使用した WEB 開催です。
PC にカメラが無くても受講できます。
受講申込者様には別途ご連絡致します。

参加費用：無料

近年、各地で発生している大規模な道路陥没事故は、下水道施設の老朽化が主な原因の一つとされています。その要因として、老朽化対策に必要な財源が十分確保できていないことが挙げられます。また、節水機器の普及や人口減少に伴い使用料収入は縮小傾向にあり、下水道事業の経営環境はより厳しくなることが想定されます。こうした状況を踏まえ、令和7年度までに経営戦略の改定が求められていますが、多くの事業体では、将来的な使用料改定が不可欠な状況となっています。使用料改定にあたっては、審議会への諮問、改定率の設定、住民への説明など、丁寧な合意形成のプロセスが必要となります。本セミナーでは、各テーマの具体的な手法や事例を交えながら分かりやすく解説します。

講師
紹介

吉岡マネジメントグループ ビズアップ公共コンサルティング株式会社（日本会計コンサルティング）
コンサルティング部 常務執行役員 **南澤淳** 課長 **山田賢吾**

◆使用料改定の進捗について

- ・近年の使用料改定の動向
- ・老朽化を踏まえた今後の更新需要
- ・経費回収率向上に関するロードマップの進捗
- ・経費回収率 100%を達成した後どうするか

◆審議会で答申を貰うために

- ・目下の関心は下水道の安全
- ・安全を担保する資金確保の重要性について
- ・少量利用者配慮に関する検証
- ・改定までのスケジュール

◆使用料改定の実務

- ・基本使用料の考え方
- ・適正な内部留保を確保するには
- ・固定分解に関する実務
- ・資産維持費の計上について

◆使用料体系の設定

- ・基本水量制廃止の是非
- ・受益者負担と少量利用者の考え方
- ・中間層や大口利用者への配慮（逡増度の考え方）
- ・住民配布、説明資料等 一例

セミナー申込書

FAX:011-213-7643

email:ksemina@yoshioka-group.jp

自治体名				
ご住所				
TEL			FAX	
ご出席者		役職	email	
		役職	email	